



ITmedia Inc.

企業におけるデータ転送についてのアンケート

ITmedia
インターネット 読者調査レポート

アイティメディア株式会社

Contents

- **調査概要** p. 3
- **サマリー** p. 4
- **回答者プロフィール** p. 6
- **データ転送の現状と課題** p. 10
- **データ転送ツールについて** p. 20

調査概要

- **調査対象：**
 - 企業情報システムの企画／導入／利用にかかわるITmedia エンタープライズ読者
- **調査方法：**
 - ITmedia エンタープライズ PR版メール告知によるWebアンケート
 - メール配信日：3月7日(金)および3月12日(水)
- **有効回答数：329s.**
- **調査期間：2014年3月7日～3月16日**
- **調査主体：**
 - 株式会社日立製作所／アイティメディア株式会社

• データ転送の現状と課題

- 1MB以上のデータ転送について、全体の38.6%が「日常的に行っている」・同45.3%が「たまに行うことがある」と答えており、**現在の業務環境では大容量データの転送機会が日常化している**ことがわかります (p.11)。
- 転送している大容量データの内容として、もっとも一般的なのは「Excel/PowerPointなどのオフィス書類」(79.1%)でした。オフィス書類以外では、「音声・画像・動画データ」(32.5%)や「バックアップデータ」(29.4%)が上位に挙げられています (p.12)。
- 現在**もっとも使われているデータ転送方法は「電子メールの添付ファイルで送信」(50.3%)**であり、以下「オンラインストレージでのファイル共有」(23.6%)が続いています (p.15)。
- データ転送時の課題として、全体の61.1%が「**ファイルサイズの制限により、メールで送受信できないことがある**」と答えており、セキュリティ課題である「**機密情報のやり取りが多く、情報漏えいが心配**」(39.2%)がそれに続いています (p.16)。
- 現在のデータ転送課題が勤務先でどのように認識されているかについて、1) 課題の重要度 2) 解決の緊急度 3) IT投資状況 の3点から聞いてみたところ、全般的に**重要度認識は高いものの、解決の緊急度はそれほど高くなく、IT投資の優先度は低い状況にある**ことがわかりました。
 - **重要度**：全体の**77%**が“重要”と回答（「とても重要である」+「まあ重要である」の合計値 p.17)
 - **緊急度**：全体の**52.1%**が短期的な解決の必要性を認識（「すみやかに解決すべき」+「なるべく早く解決した方がよい」の合計値 p.18)
 - **IT投資状況**：投資済み+投資予定 = **22.7%**（「すでに投資している」+「投資の計画が決まっている」の合計値 p.19)

サマリー(承前)

• データ転送ツールについて

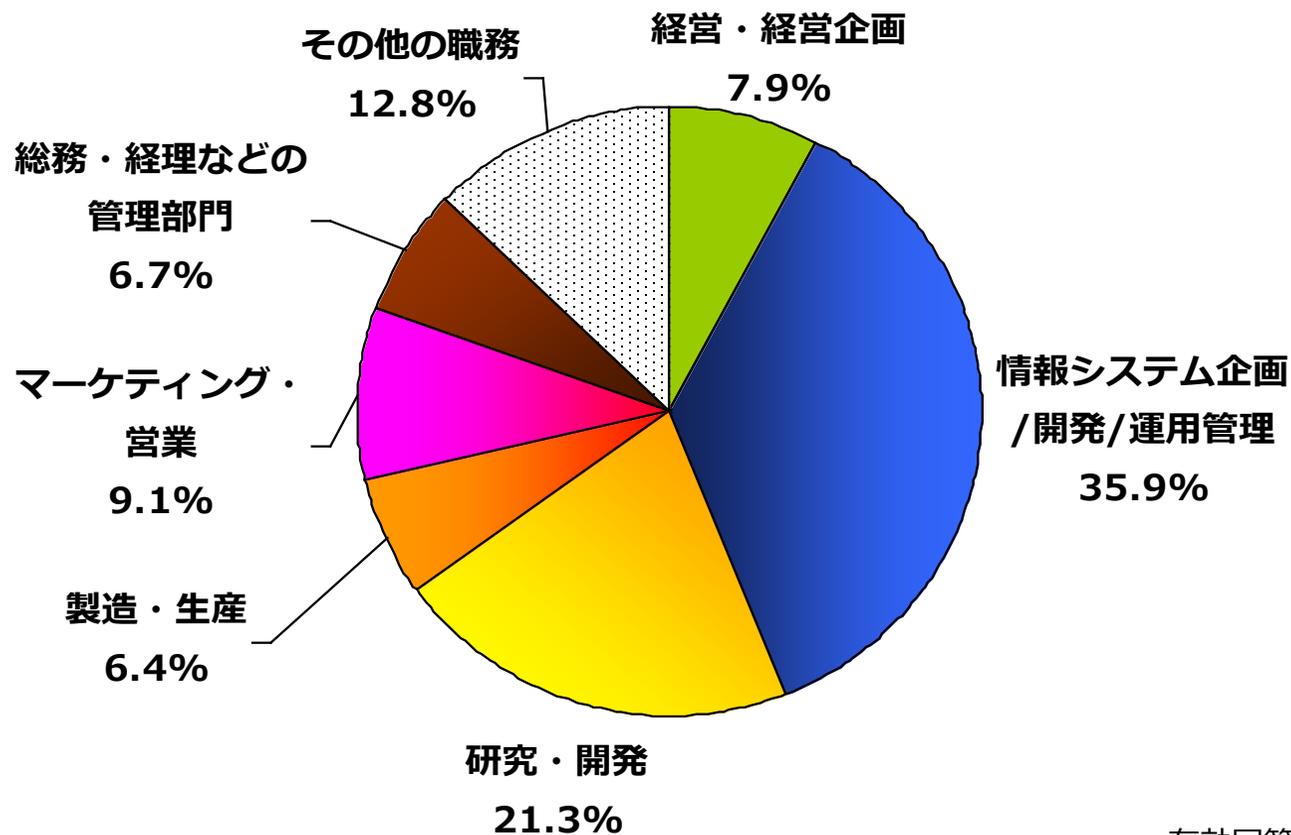
- 企業向けデータ転送ツールでもっとも認知率が高かったのは「HULFT (セゾン情報システムズ)」(61.1%)であり、「JP1/Data Highway (日立製作所)」(48.5%)は第2位でした (p.21)。
- 企業向けデータ転送ツール導入時の重視点トップ3は、「導入・運用コスト」(76.4%)・「運用管理しやすいこと」(62.4%)・「暗号化などのセキュリティ強度」(57.1%)でした (P.22)。
- 新しいデータ転送ソリューションのコンセプト/特長を提示したところ、**全体の50.8%が利用意向を示しました** (「とても利用したい」+「試しに利用してみたい」の合計値 p.30)。
 - **業種別傾向**：「建設/土木業」「医療/教育/官公庁」で“とても利用したい”人が多い (p.25)。
 - **データ内容別傾向**：「設計図などの図面データ(CAD)」や「バックアップデータ」を扱っている層で“とても利用したい”人が多い (P.26)。
- データ転送ソリューションコンセプトの3つの特長の中でもっとも魅力度が高かったのは、「大容量データに対応した高速でセキュアな (HTTPS、送信先/アクセス制御など) 転送を実現」(54.7%) でした (P.27)。

回答者プロフィール

回答者プロフィール:職務内容

➤回答者全体の35.9%が「情報システムの企画・開発・運用管理」業務に携わっています。

➤あなたの職務内容にあてはまるものを、ひとつだけお選びください。

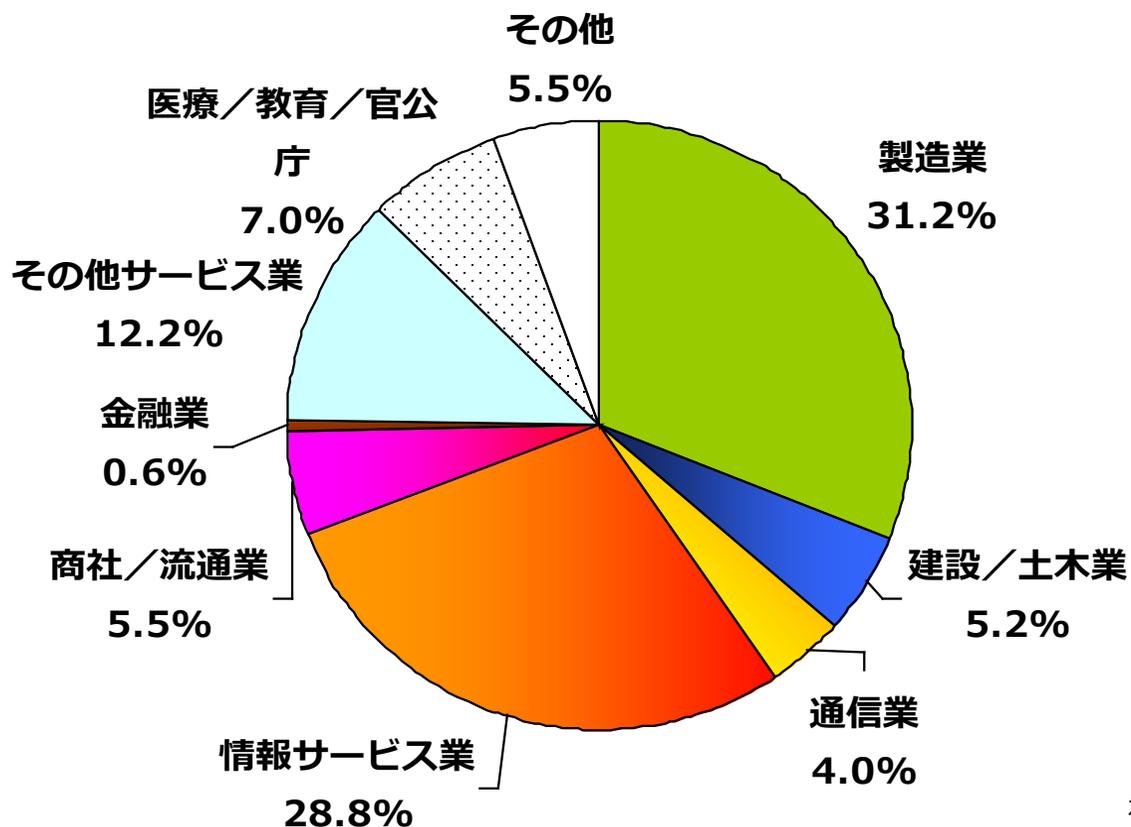


有効回答(n=329)

回答者プロフィール:業種

➤回答者全体の31.2%が「製造業」、同28.8%が「情報サービス業」に勤務しています。

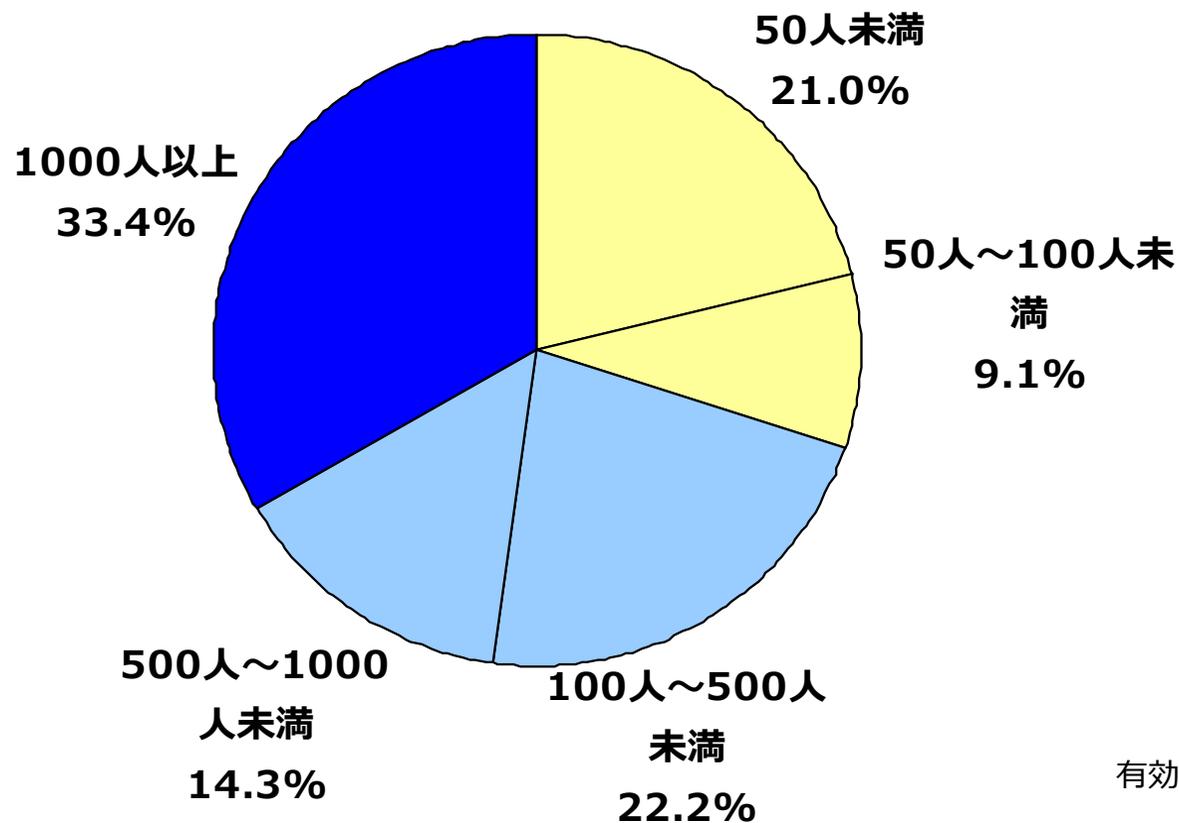
➤お勤め先の主な業種にあてはまるものを、ひとつだけお選びください。



回答者プロフィール: 従業員規模

➤回答者全体の33.4%が従業員1000人以上の大企業、同36.5%が100人～1000人未満の中堅企業、同30.1%が100人未満の中小企業にそれぞれ勤務しています。

➤お勤め先の従業員規模にあてはまるものを、ひとつだけお選びください。



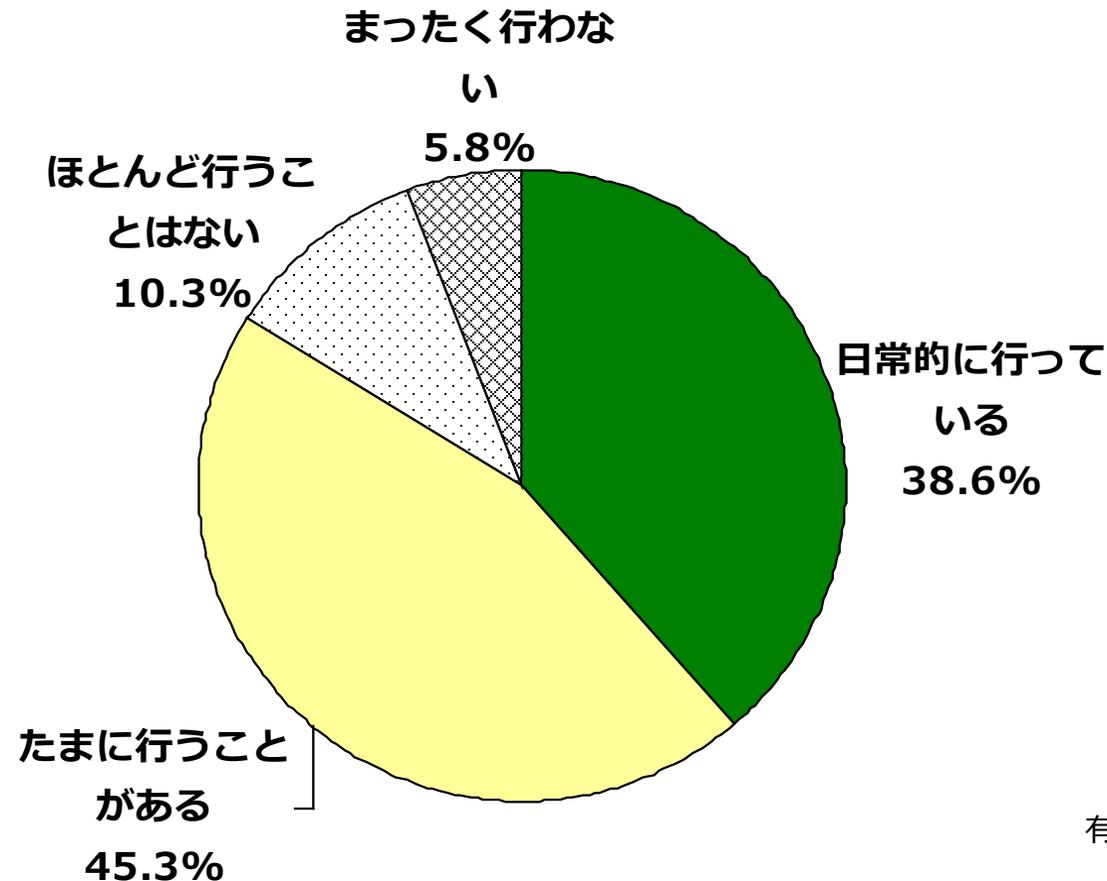
有効回答(n=329)

データ転送の現状と課題

業務データの転送状況

▶1MB以上のデータ転送について、全体の38.6%が「日常的に行っている」・同45.3%が「たまに行うことがある」と答えており、現在の業務環境では大容量データ転送が日常化していることがわかります。

▶あなたは業務で大容量（目安として1MB以上）のデータ転送を行っていますか？

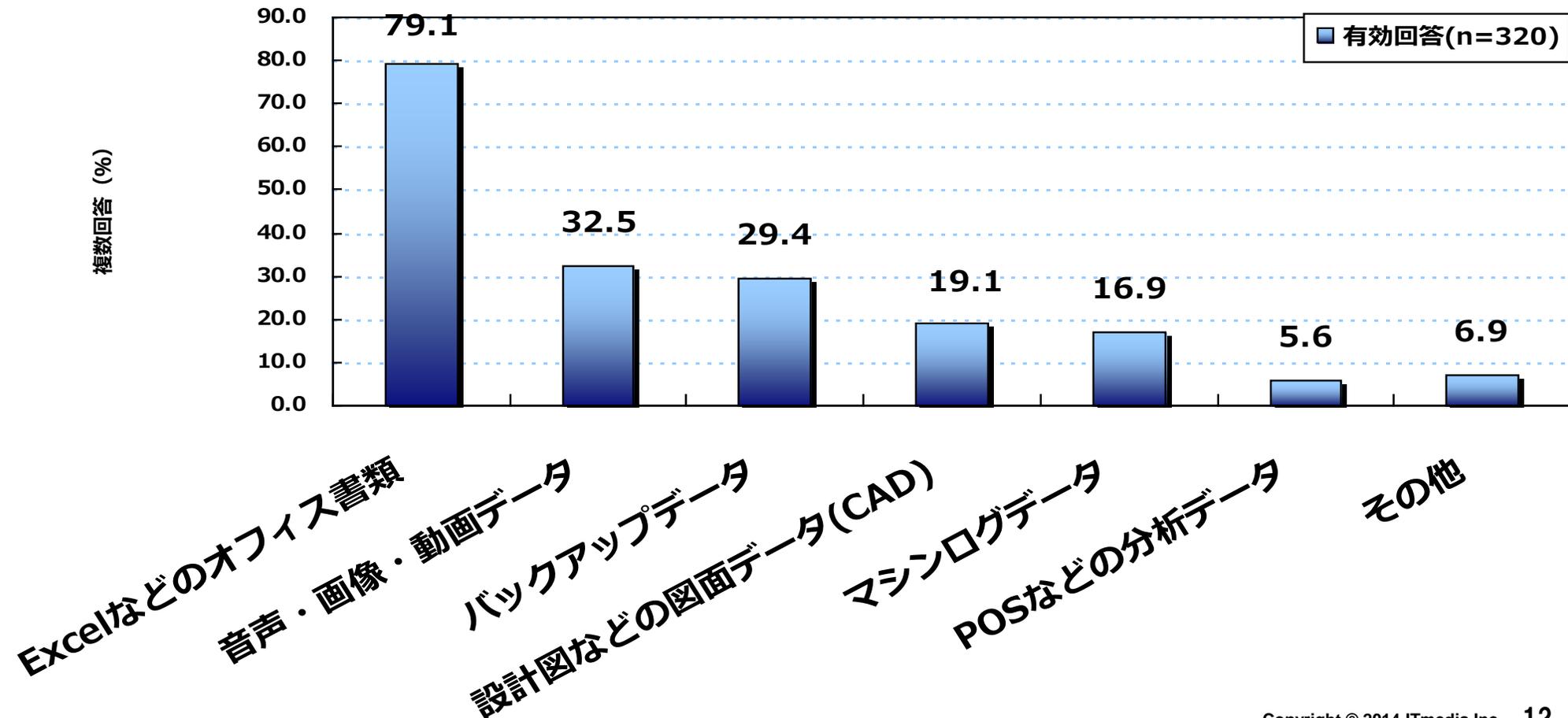


有効回答(n=329)

転送している大容量データの内容

▶転送しているデータ内容として、全体の79.1%が「Excel／PowerPointなどのオフィス書類」を挙げており、以下「音声・画像・動画データ」（32.5%）や「バックアップデータ」（29.4%）が続いています。

▶あなたが業務で転送している大容量データの内容にあてはまるものを、いくつでもお選びください。



転送している大容量データの内容(その他の内容)

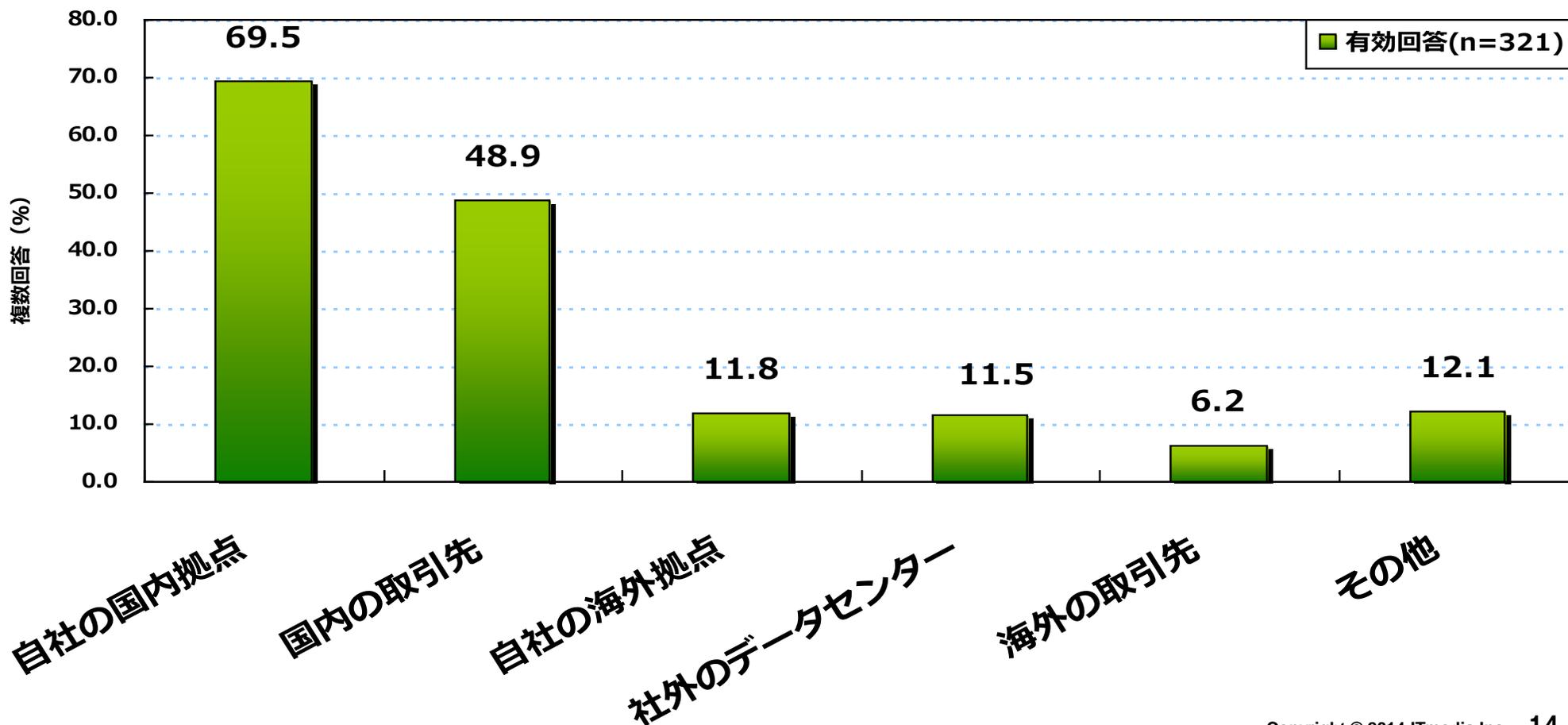
コメント: 業種 : 従業員規模 : 職務内容

- PDF : 製造 : 100-499人 : 情シス
- PDF : 情報サービス : 1000人以上 : 製造/生産
- PDFなどのスキャンデータ : 情報サービス : 1000人以上 : 情シス
- TXT,CSV形式のデータ : 医療/教育/官庁 : 500-999人 : 情シス
- システムで管理している業務データ(csv) : 情報サービス : 1000人以上 : 情シス
- スキャンしたオフィス書類 : サービス : 100-499人 : 管理部門
- ソースコード : 製造 : 1000人以上 : 研究/開発
- テストデータ : 医療/教育/官庁 : 500-999人 : 研究/開発
- プログラム : 製造 : 1000人以上 : その他
- プログラム : 通信 : 100-499人 : 研究/開発
- プログラムソース : 情報サービス : 50人未満 : 情シス
- プログラムデータ : 製造 : 1000人以上 : 研究/開発
- 圧縮ファイル : サービス : 50人未満 : その他
- 印字用PDFデータ : 情報サービス : 100-499人 : マーケ/営業
- 画面、プログラムなど : 製造 : 1000人以上 : マーケ/営業
- 計測データ : 情報サービス : 50人未満 : 情シス
- 写真(Jpeg)やPDF : サービス : 50人未満 : 情シス
- 生体情報、解析結果、など : 医療/教育/官庁 : 1000人以上 : 研究/開発
- 他システムからのデータ : 情報サービス : 1000人以上 : 情シス

大容量データの転送先

▶大容量データの転送先としては、「自社の国内拠点」（69.5%）および「国内の取引先」（48.9%）が上位に挙げられました。

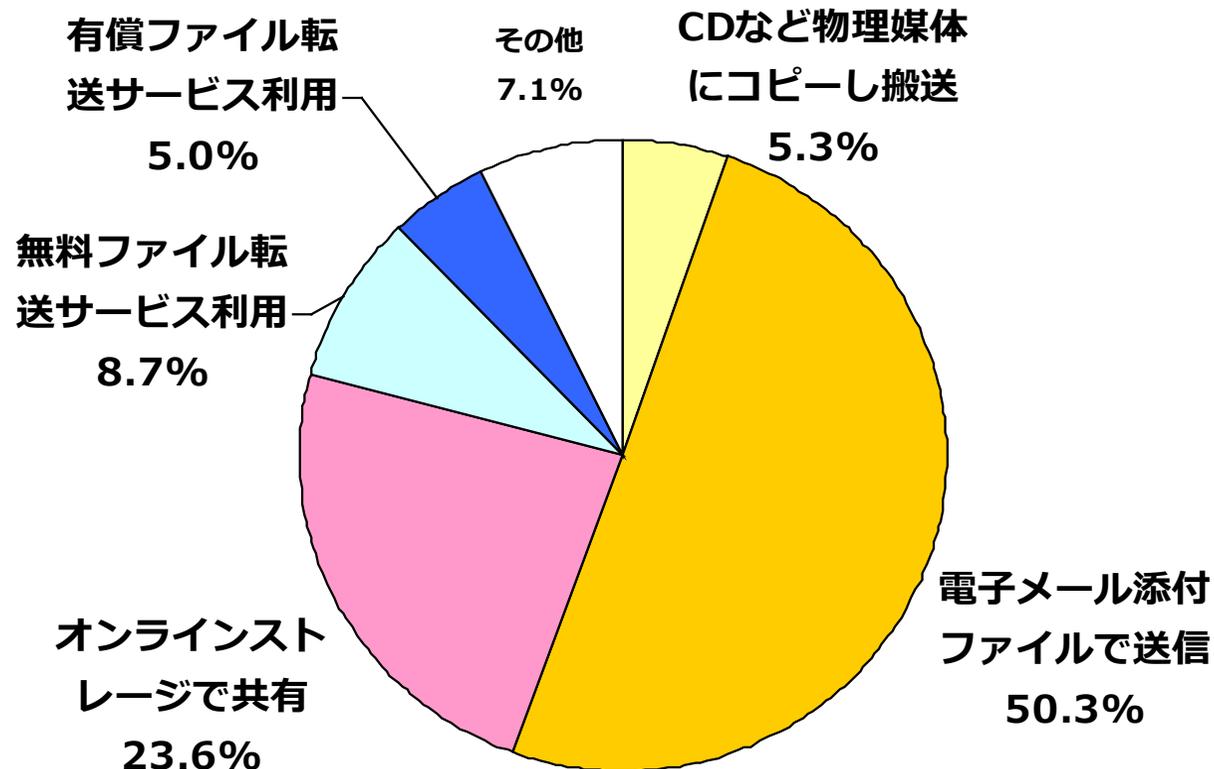
▶大容量データの転送先にあてはまるものを、いくつでもお選びください。



業務データの転送方法

▶全体の半数（50.3%）が「電子メールの添付ファイルで送信」しており、「オンラインストレージでのファイル共有」（23.6%）がそれに続いている。

▶現在業務で利用している主なデータ転送方法を、ひとつだけお選びください。

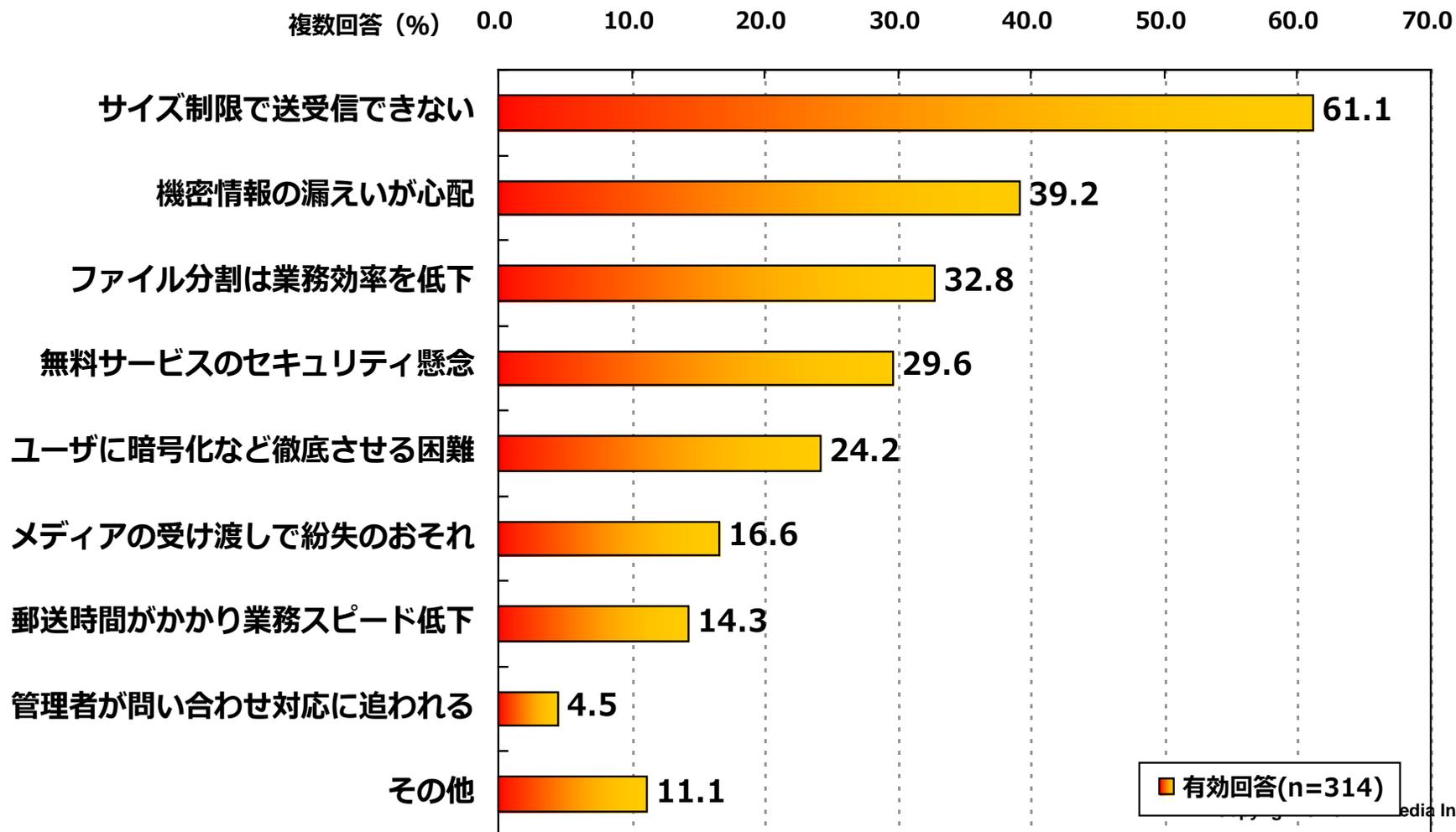


有効回答(n=322)

データ転送の課題・問題点

▶現在のデータ転送方法でもっとも共通する課題は「ファイルサイズの制限により、メールで送受信できないことがある」（61.1%）であり、以下「機密情報のやり取りが多く、情報漏えいが心配」（39.2%）・「ファイル分割による送受信は、手間がかかり業務効率を低下させる」（32.8%）と続いています。

▶上記の方法でデータ転送を行う際の課題・問題点があれば、いくつでもお選びください。

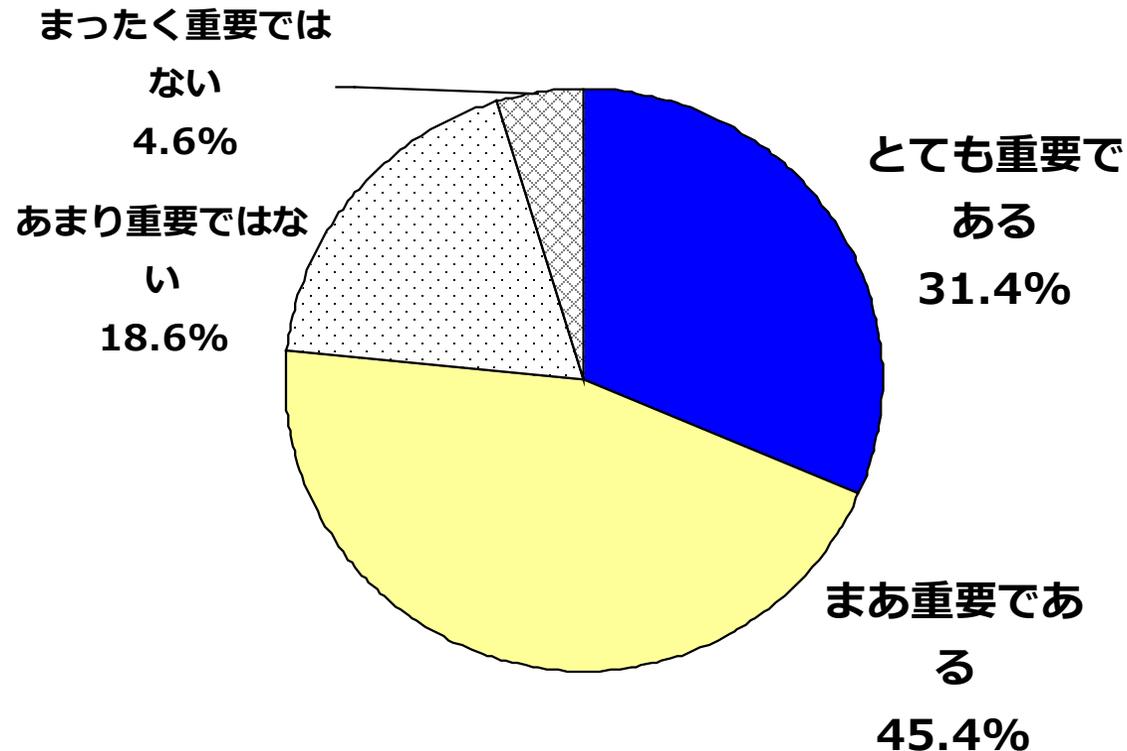


勤務先のデータ転送認識：課題の重要度

▶前項のデータ転送課題の重要度（ビジネスへのインパクト）を聞いたところ、全体の77%が重要である（「とても重要である」+「まあ重要である」の合計値）と答えています。

▶上記のようなデータ転送課題について、お勤め先ではどのように認識されていますか？

▶a. データ転送に対する課題の重要度（ビジネスへのインパクト）



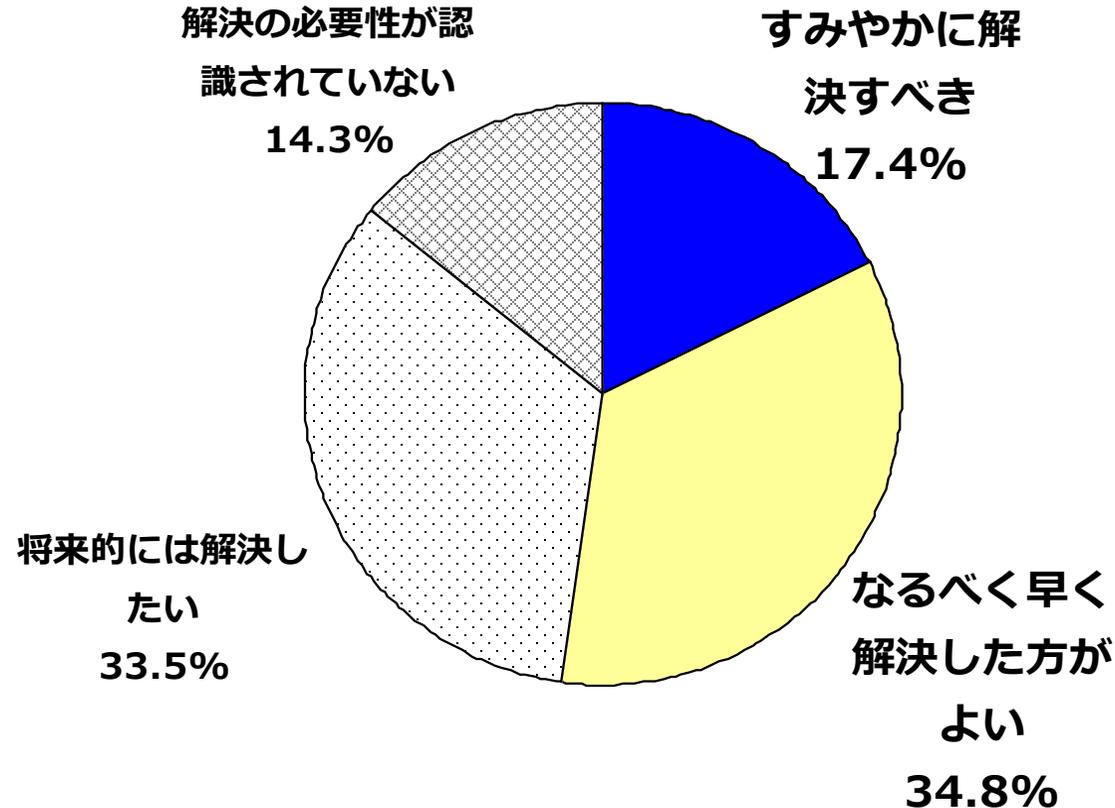
有効回答(n=328)

勤務先のデータ転送認識：課題解決の緊急度

▶続いてデータ転送課題の緊急度を聞いたところ、「すみやかに解決すべきである」+「なるべく早く解決した方がよい」の合計値は52.1%であり、重要度認識に比べると緊急性はそれほど高くないと思われる模様です。

▶上記のようなデータ転送課題について、お勤め先ではどのように認識されていますか？

▶b. データ転送に対する課題解決の緊急度



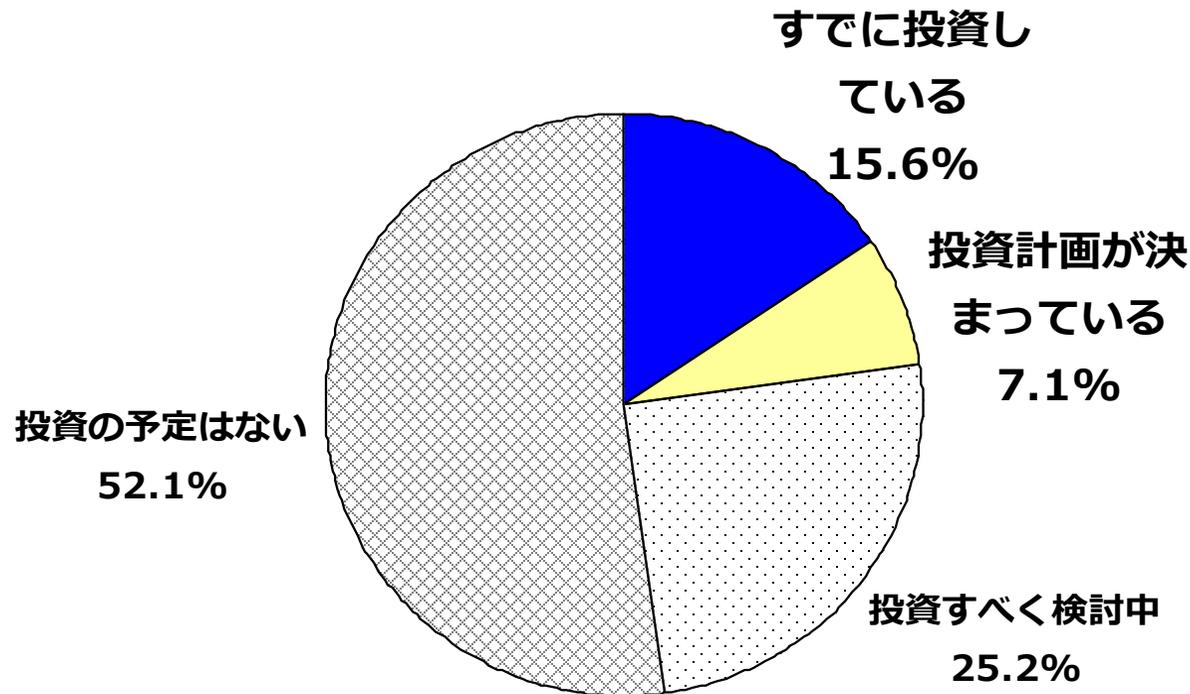
有効回答(n=328)

勤務先のデータ転送認識：IT投資状況

▶次にデータ転送に対するIT投資状況を聞いたところ、「すでに投資している」+「投資の計画が決まっている」の合計値は22.7%にとどまっており、データ転送ソリューションが具体的な投資対象となっている企業はまだ少数派であることがわかります。

▶上記のようなデータ転送課題について、お勤め先ではどのように認識されていますか？

▶c. データ転送に対するIT投資状況



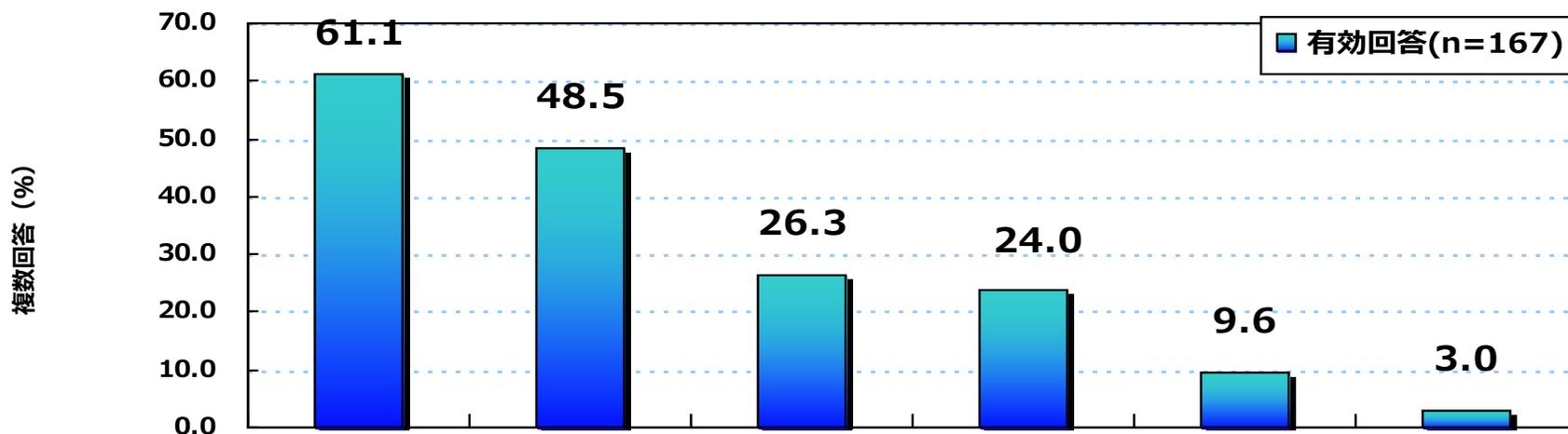
有効回答(n=326)

データ転送ツールについて

データ転送ツールの認知状況

▶データ転送ツールの中でもっとも認知率が高いのは「HULFT（セゾン情報システムズ）」（61.1%）であり、「JP1/Data Highway（日立製作所）」（48.5%）がそれに続いています。

▶以下にあげる企業向けデータ転送ツールの中で、あなたをご存知のものがあれば、いくつでもお選びください。



HULFT (セゾン情報システムズ)

JP1/Data Highway (日立製作所)

クリプト便 (NRIセキ1テクノロジーズ)

BI.DAN-GUN (富士通)

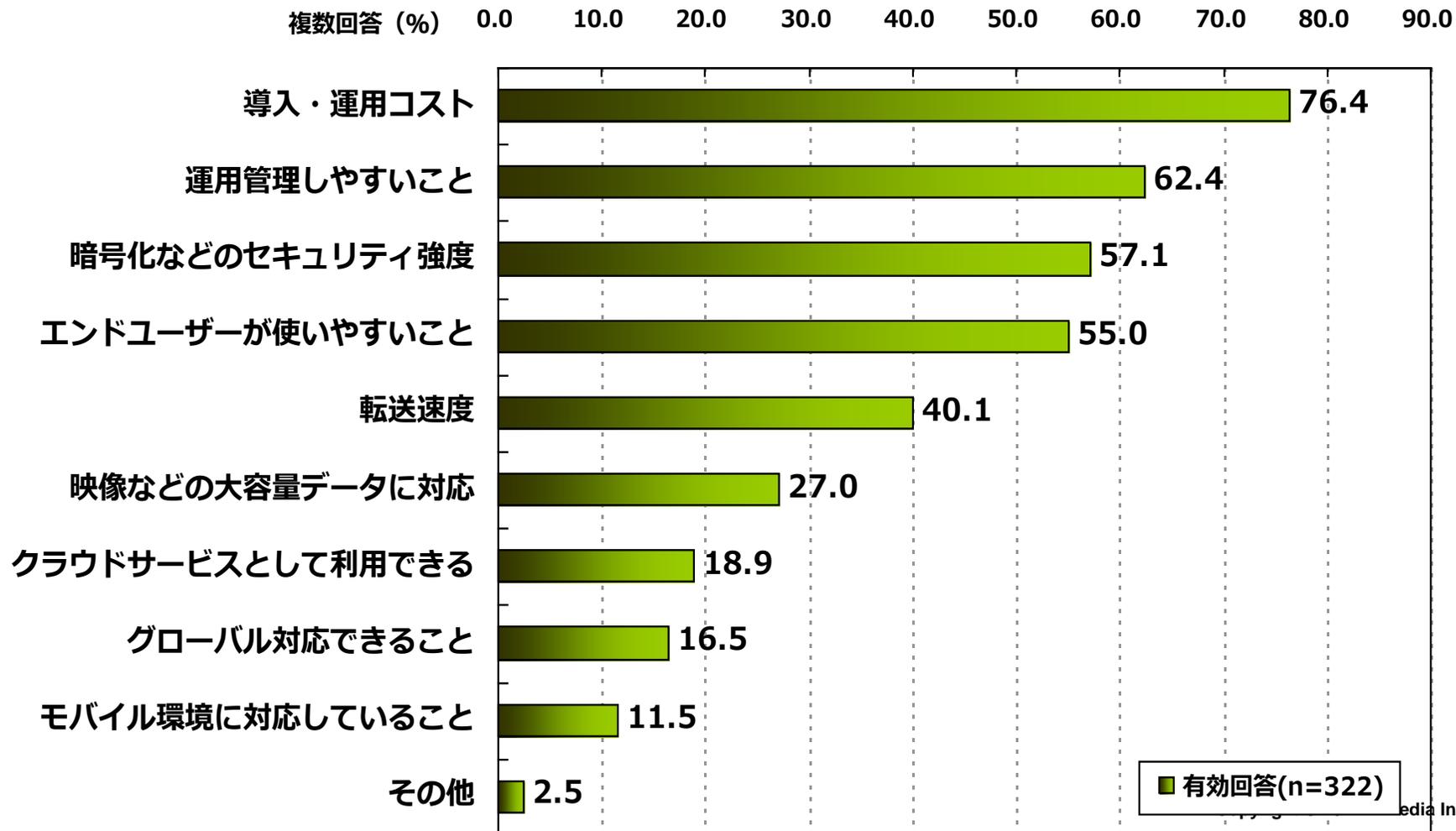
Aspera (Aspera)

Silver Bullet (Skeed)

データ転送ツール導入時の重視点

▶企業向けデータ転送ツールの導入重視点トップは「導入・運用コスト」(76.4%)であり、以下「運用管理しやすいこと」(62.4%)・「暗号化などのセキュリティ強度」(57.1%)と続いています。

▶今後企業向けデータ転送ツールを導入するとしたら、お勤め先ではどのような点を重視しますか？あてはまるものをいくつでもお選びください。



コンセプトテスト

※以下に挙げるデータ転送ソリューションのコンセプト／特長をお読みいただいたうえで、設問にお答えください。

■コンセプト：

・データ送受信／共有／バックアップなど、データの用途や種別に合わせた最適な製品群を組み合わせることにより、企業のデータ活用を最大限に引き出すデータ転送ソリューションです。

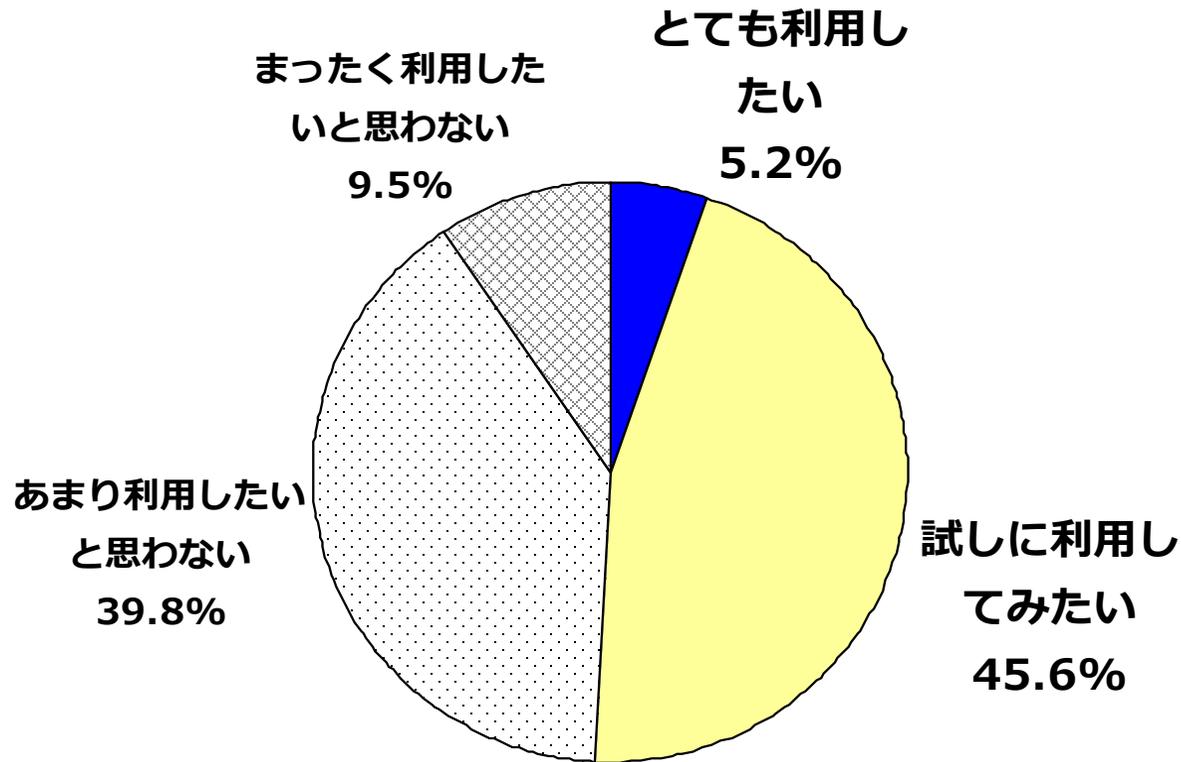
■ソリューション特長：

- ・データ転送に対する様々なニーズに対応できるソリューションをワンストップで提供
- ・大容量データに対応した高速でセキュアな（HTTPS、送信先／アクセス制御など）転送を実現
- ・データの重要度とコストのバランスによって選択できるバックアップラインアップ

コンセプトテスト: 利用意向

▶前ページのデータ転送ソリューションに関するコンセプト文を提示したところ、全体の50.8%が利用意向を示しました（「とても利用したい」+「試しに利用してみたい」の合計値）。

▶上記のデータ転送ソリューションコンセプトについて、あなたはどの程度利用してみたいと思いますか？



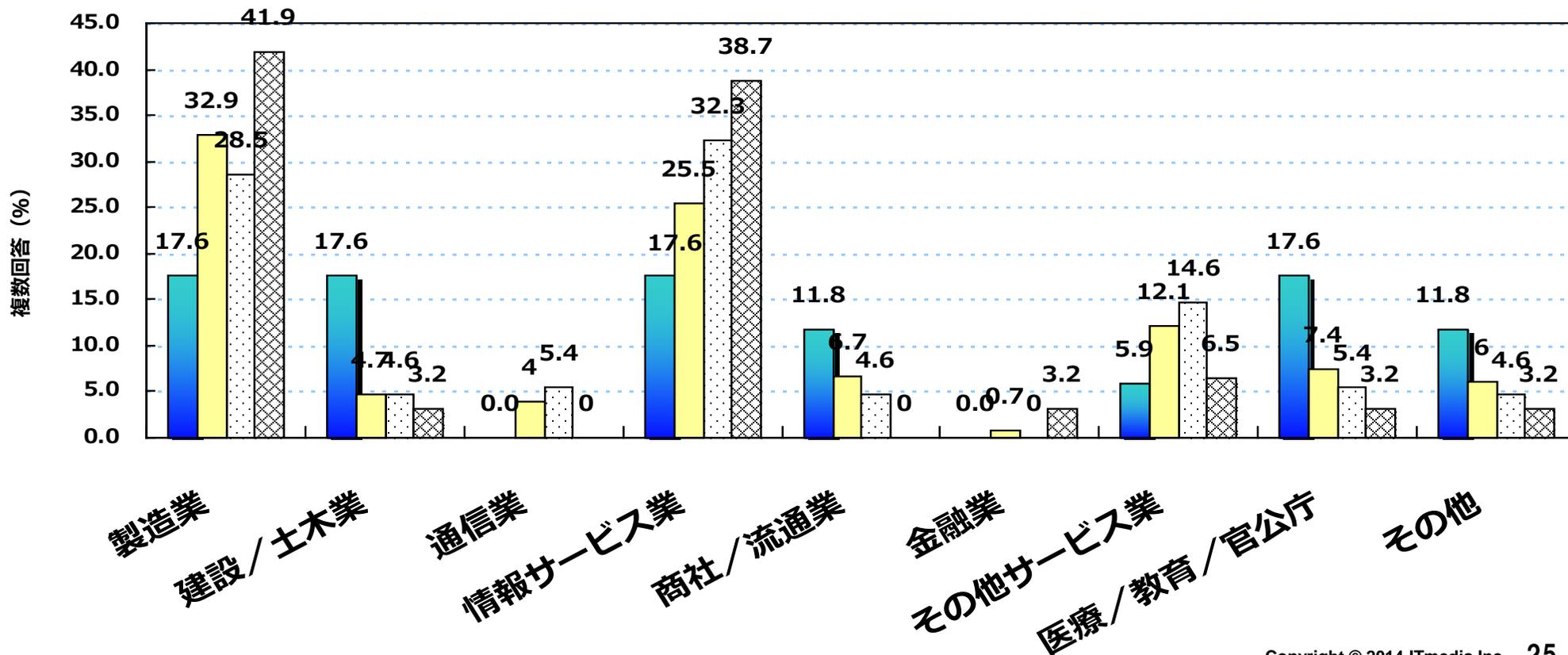
有効回答(n=327)

コンセプトテスト: 利用意向(業種別)

▶コンセプト利用意向を業種別に見ると、“とても利用したい”との回答は「建設/土木業」および「医療/教育/官公庁」で多い傾向にあります。

▶上記のデータ転送ソリューションコンセプトについて、あなたはどの程度利用してみたいと思いますか？

■ とても利用したい(n=17) ■ 試しに利用したい(n=149) ■ あまり利用したくない(n=130) ■ まったく利用したくない(n=31)

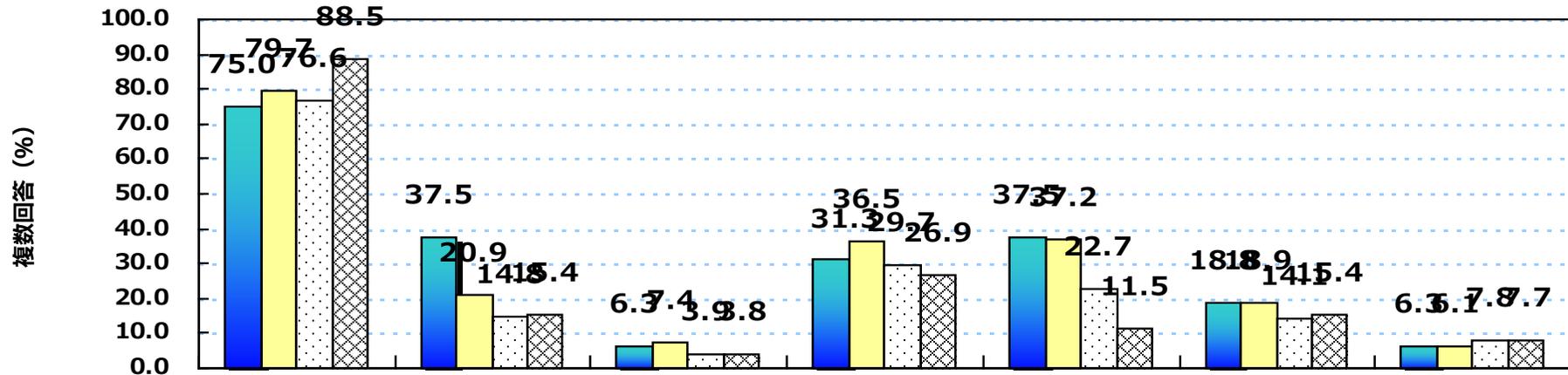


コンセプトテスト: 利用意向(転送するデータ内容別)

▶ コンセプト利用意向をデータ内容別に見ると、“とても利用したい”との回答は「設計図などの図面データ(CAD)」や「バックアップデータ」を転送している層で多い傾向にあります。

▶ 上記のデータ転送ソリューションコンセプトについて、あなたはどの程度利用してみたいと思いますか？

■ とても利用したい(n=16) ■ 試しに利用したい(n=148) □ あまり利用したくない(n=128) ▨ まったく利用したくない(n=26)

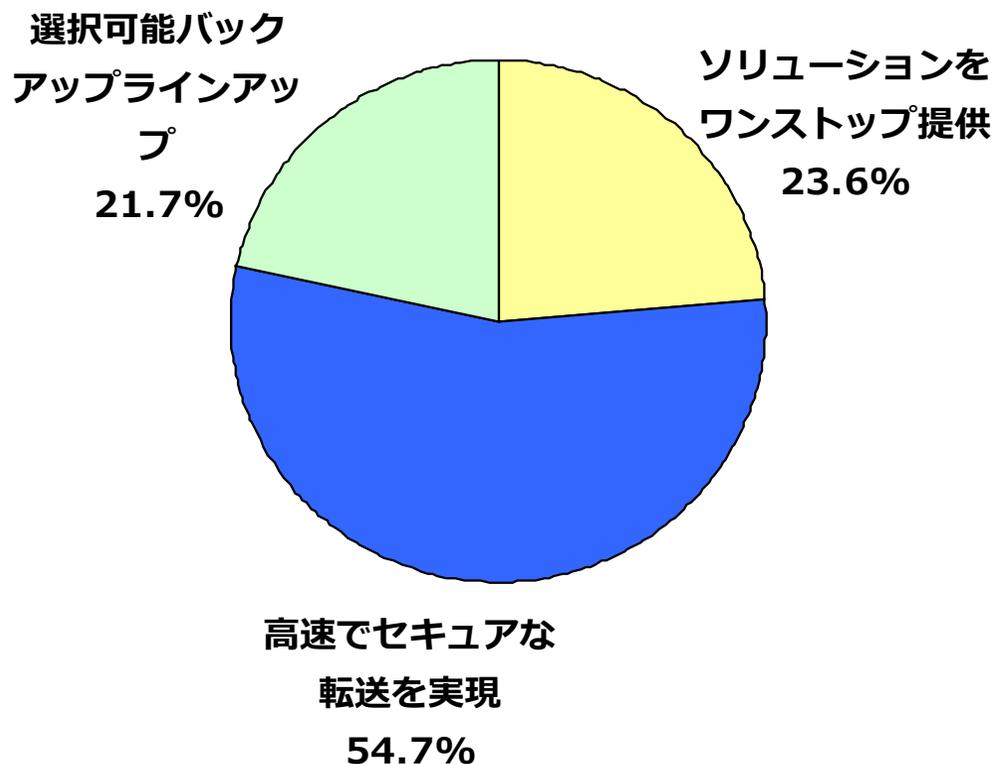


Excelなどのオフィス書類
設計図などの図面データ(CAD)
POSなどの分析データ
音声・画像・動画データ
バックアップデータ
マシンログデータ
その他

コンセプトテスト: 特長魅力度

▶データ転送ソリューションコンセプトの3つの特長の中で魅力度を聞いた結果、全体の54.7%が「大容量データに対応した高速でセキュアな（HTTPS、送信先/アクセス制御など）転送を実現」を選びました。

▶上記データ転送ソリューションコンセプトの特長の中で、あなたがもっとも魅力を感じる項目を1つだけお選びください。

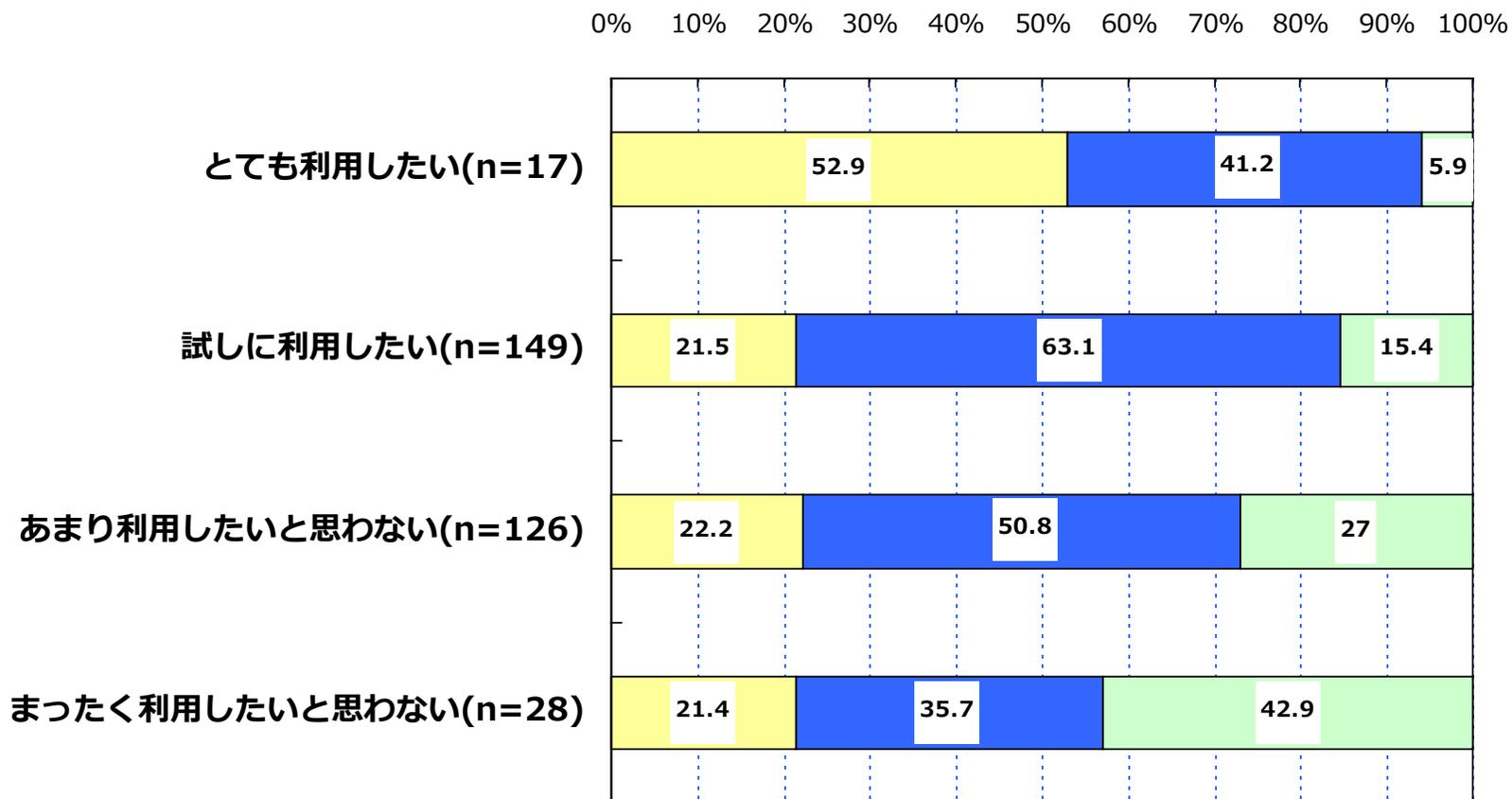


有効回答(n=322)

コンセプトテスト: 特長魅力度(利用意向別)

➤ソリューションコンセプトを「とても利用したい」と答えた人では、「データ転送に対する様々なニーズに対応できるソリューションをワンストップで提供」の魅力が高く表れています。

➤上記データ転送ソリューションコンセプトの特長の中で、あなたがもっとも魅力を感じる項目を1つだけお選びください。



■ ソリューションをワンストップ提供 ■ 高速でセキュアな転送 ■ 選択可能バックアップラインアップ



ITmedia Inc.

